

北神地域における 公共交通の現状と課題

神戸市地域公共交通会議

平成19年9月19日

1 . 北神地域の概要(1)

北神地域とは
神戸市北区の
有野町、有馬町、
道場町、八多町、
大沢町、長尾町、
淡河町
の7町からなる区域



1 . 北神地域の概要(2)

面積 146 km²(全市の26%、北区の60%)
人口 81,982人(全市の5.4%、北区の36.2%) H19.9.1
歴史 神戸市に合併 (S22 有野村・有馬町、S26 道場村・
八多村・大沢村、S30 長尾村、33 淡河村)

特色

有野町、長尾町

- ・市街地化と伝統的な地域が
並存
- ・大規模な住宅・産業団地や
商業施設



1 . 北神地域の概要(3)

有馬町

・観光・住宅地として発展

道場町、八多町、大沢町、淡河町

・一部を除き、伝統的な農村

地域(文化・自然)が開

・人口の過疎化、高齢化が

進展



2 . 北神地域の公共交通の現状と課題(1)

(1)公共交通の現状

整備の考え方

- ・鉄道・バス事業者が役割分担して、「鉄道を基幹とし、バスで補完する」公共交通網の形成を図る。

(第4次神戸市基本計画H7.10)

鉄 道

- ・神戸電鉄・北神急行・JR福知山線が鉄道網を形成

バ ス

- ・岡場駅、有馬温泉、三田駅等を基点としてバス路線網を形成

2 . 北神地域の公共交通の現状と課題(2)

(2)神戸市の支援

民間の鉄道・バス事業者に対して、国・県・関係市町と協力して支援

鉄道

- ・神戸電鉄近代化補助(安全性向上、サービス改善等)
- ・北神急行電鉄運賃値下げ支援(430円 350円)

バス

- ・路線維持補助(鉄道駅から遠く、他に公共交通手段のない広域的・幹線路線)
- ・安全・円滑化補助(ICカード導入促進)

2 . 北神地域の公共交通の現状と課題(3)

(3)課題 - バス交通等 -

公共交通の利用者の減少

- ・特に、大沢町、淡河町、八多町等を通る路線バスの利用者の減少が著しい 将来的に路線を維持できなくなることが懸念

従来の路線バスを補完する、きめ細かなサービスによる新たな移動手段に対する要望

- ・淡河町内のNPO法人から「ボランティア有償運送」の実施について要望

淡河町内のバス停までの移動手段の確保

3 . 淡河町ボランティア運送について(1)

(1)計画の概要

既存の公共交通機関(神姫バス等)を補助・補完し、交通空白時間の解消を図る。

町内にある社会福祉法人の車両を活用する。

運行の区間・時間	目的	対象者
淡河町内 (平日・昼間)	自宅からバス停や連絡所等までの移動支援	登録を受けた淡河町民 登録を受けた福祉施設の来訪者 ・ の同伴者
谷上駅等 淡河町内 (平日・夜間)	通学・通勤者の帰宅支援	
谷上駅等 淡河町内福祉施設 (日曜日・昼間)	福祉施設面会者のための送迎運行	

3 . 淡河町ボランティア運送について(2)

(2)神戸市の考え方(1)

広域的・幹線的バス路線については、国や県の路線維持補助制度を活用し路線の維持を図る。

従来のバス路線よりきめ細かなサービス、例えば「自宅から近くの幹線道路のバス停までの移動手段」などについては、地域の主体的な取組の下での解決をお願いする。

地域の主体的な取組に対しては、企画調整局と区役所が連携して側面的な支援を行っている(例:くるくるバス)。

3 . 淡河町ボランティア運送について(3)

(2)神戸市の考え方(2)

今回のボランティア運送計画は、下記のとおり既存の公共交通機関を補助・補完し、交通空白時間の解消を図るものであり、運行の安全性等を担保する体制や措置等が整備されるのであれば、提案のとおり、地元のNPO法人が主体となることがふさわしいと考えている。

登録された淡河町民等を対象に、主として自宅近くから淡河町内のバス停までの移動手段として実施

町外輸送については、基本的に交通空白の時間に谷上駅等に限定して実施